



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場取引所 東 福

上場会社名 リックス株式会社

コード番号 7525 URL <http://www.rix.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安井 龍之助

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 荻田 透

TEL 092-472-7311

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	7,228	22.4	269	76.9	304	89.0	150	116.7
23年3月期第1四半期	5,903	3.8	152	464.8	161	161.8	69	394.4

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 167百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 5百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	17.73	—
23年3月期第1四半期	8.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	19,431	7,975	39.2
23年3月期	19,950	7,916	38.0

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 7,625百万円 23年3月期 7,571百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	12.00	16.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,100	10.7	490	△5.2	540	△1.7	260	43.7	30.62
通期	28,500	4.9	1,030	△16.4	1,120	△14.7	540	△21.6	63.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	8,640,000 株	23年3月期	8,640,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	148,505 株	23年3月期	148,505 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	8,491,495 株	23年3月期1Q	8,491,753 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災による大きな打撃を受けました。特に自動車・電気・機械においては、材料・部品供給網の寸断により生産が大幅に減少となり、それにより輸出も大きく減少するなど国内景気は急激な後退に陥りました。しかしながら予想よりも早い供給網の復旧により、一時的な景気後退から震災以前の緩やかな回復の軌道に戻りつつあります。

この状況の下、当社グループは顧客に対して、原価低減、省エネルギー、品質向上などの価値提案を主とした顧客密着営業を展開し、顧客の新規設備投資が抑制されるなかでも、生産比例品及び消耗品等の販売に注力することで、営業目標の達成に努力してまいりました。

この結果、当第 1 四半期連結累計期間の業績は、売上高72億28百万円（前年同期比22.4%増）、営業利益 2 億69百万円（前年同期比76.9%増）、経常利益 3 億 4 百万円（前年同期比89.0%増）、四半期純利益 1 億50百万円（前年同期比116.7%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(鉄鋼業界)

同業界では、製鉄所の設備被害や自動車生産の低迷、また輸出事情の悪化などにより、粗鋼生産量が前年同期比で 6 % の減少となりました。

当社グループにおきましては、新しく製鋼用副資材として開発した脱磷材の販売が伸びたほか、各種機械の補修用品・消耗部品等の販売も堅調に推移し、この結果、同業界向け全体としての売上高は26億33百万円（前年同期比16.9%増）となりました。

(自動車業界)

同業界では、自動車生産台数が前年同期比で約 3 割減と大幅な減少となりました。一方、工作機械の受注は、アジアの旺盛な需要と米欧の回復により前年同期比で約 4 割増と大幅な増加となり、金融危機以前の水準にまで回復してきました。

当社グループにおきましては、自動車部品洗浄装置及びそのポンプの販売が寄与したほか、従来からの主力商品である工作機械用ロータリージョイントの販売が伸びたことにより、自動車業界向け全体としての売上高は11億 1 百万円（前年同期比34.7%増）となりました。

(電子・半導体業界)

同業界では、国内の半導体装置メーカーの受注に減少傾向が見られましたが、世界的な半導体需要の背景に、なお高水準の推移となりました。

当社グループにおきましては、車載用半導体検査装置や、半導体製造装置に使用されるフッ素樹脂製タンクの販売が伸びて、同業界向け全体としての売上高は 8 億61百万円（前年同期比17.2%増）となりました。

(ゴム・タイヤ業界)

海外のタイヤメーカーの加硫機増設により、加硫機用バルブ・機器の販売が大幅に増加し、さらに省エネ対策で開発を進めていた加硫機用の高性能断熱板の販売が増加した結果、同業界向け全体としての売上高は 8 億64百万円（前年同期比68.3%増）となりました。

(環境業界)

水処理用RO膜エレメントの販売が増加したほか、公共ごみ処理施設向けのダスト搬送装置の販売が寄与し、同業界向け全体としての売上高は2億56百万円(前年同期比8.6%増)となりました。

(紙パルプ業界)

各種ポンプ及びその消耗部品の販売が低迷し、同業界向け全体としての売上高は1億41百万円(前年同期比17.2%減)となりました。

(化学業界)

各種ポンプ、フィルター等の販売が伸びたほか、反応炉の開孔機の販売が寄与し、同業界向け全体としての売上高は2億58百万円(前年同期比56.2%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末より3.4%減少し、152億16百万円となりました。これは、主に現金及び預金が4億4百万円、たな卸資産が1億22百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末より0.5%増加し、42億15百万円となりました。これは、主に有形固定資産が8百万円増加したことなどによるものです。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末より2.6%減少し、194億31百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末より5.0%減少し、104億31百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が1億32百万円、未払法人税等が4億42百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末より2.9%減少し、10億24百万円となりました。これは、主に長期借入金が16百万円、役員退職慰労引当金が14百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末より4.8%減少し、114億56百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末より0.7%増加し、79億75百万円となりました。これは、主に利益剰余金が48百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点では、平成23年5月13日に公表しました業績予想に変更はありませんが、変更が必要となった場合は、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の算定方法

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算定する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,126,278	2,721,351
受取手形及び売掛金	10,005,201	10,152,312
商品及び製品	931,308	799,557
仕掛品	111,243	108,240
原材料及び貯蔵品	58,257	70,530
その他	1,529,051	1,371,486
貸倒引当金	△7,261	△7,372
流動資産合計	15,754,081	15,216,107
固定資産		
有形固定資産	1,735,741	1,743,985
無形固定資産	71,039	65,968
投資その他の資産		
投資有価証券	1,864,787	1,871,062
その他	549,131	548,550
貸倒引当金	△24,592	△14,386
投資その他の資産合計	2,389,326	2,405,226
固定資産合計	4,196,107	4,215,180
資産合計	19,950,188	19,431,287
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,961,292	7,829,264
短期借入金	1,617,400	1,739,125
1年内返済予定の長期借入金	67,722	66,237
未払法人税等	592,544	150,291
役員賞与引当金	—	11,001
賞与引当金	—	181,655
その他	739,606	453,754
流動負債合計	10,978,566	10,431,329
固定負債		
長期借入金	49,991	33,816
退職給付引当金	529,467	528,864
役員退職慰労引当金	360,991	346,880
その他	114,594	115,132
固定負債合計	1,055,045	1,024,694
負債合計	12,033,611	11,456,024

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	827,900	827,900
資本剰余金	683,986	683,986
利益剰余金	6,050,343	6,098,836
自己株式	△79,036	△79,036
株主資本合計	7,483,193	7,531,687
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	168,309	168,542
為替換算調整勘定	△80,370	△74,698
その他の包括利益累計額合計	87,939	93,843
少数株主持分	345,444	349,732
純資産合計	7,916,577	7,975,263
負債純資産合計	19,950,188	19,431,287

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
売上高	5,903,863	7,228,826
売上原価	4,808,041	5,880,933
売上総利益	1,095,821	1,347,892
販売費及び一般管理費	943,607	1,078,631
営業利益	152,214	269,260
営業外収益		
受取利息	572	634
受取配当金	6,921	9,124
持分法による投資利益	10,898	19,374
不動産賃貸料	7,912	7,104
その他	7,487	8,583
営業外収益合計	33,792	44,820
営業外費用		
支払利息	2,297	1,370
為替差損	17,481	7,950
その他	5,227	446
営業外費用合計	25,006	9,768
経常利益	161,000	304,313
特別利益		
固定資産売却益	—	70
貸倒引当金戻入額	477	—
保険解約返戻金	—	408
特別利益合計	477	478
特別損失		
減損損失	163	122
固定資産除却損	550	162
会員権評価損	1,220	—
特別損失合計	1,934	285
税金等調整前四半期純利益	159,542	304,506
法人税等	81,194	144,831
少数株主損益調整前四半期純利益	78,348	159,675
少数株主利益	8,882	9,145
四半期純利益	69,466	150,529

四半期連結包括利益計算書
第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	78,348	159,675
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79,285	1,606
為替換算調整勘定	7,023	5,672
持分法適用会社に対する持分相当額	△253	567
その他の包括利益合計	△72,516	7,846
四半期包括利益	5,832	167,522
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,330	156,434
少数株主に係る四半期包括利益	△497	11,087

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第 1 四半期連結累計期間(自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							
	鉄鋼	自動車	電子・ 半導体	ゴム・ タイヤ	環境	紙パルプ	化学	計
売上高								
外部顧客への 売上高	2,253,389	817,534	734,680	513,638	235,884	170,394	165,540	4,891,062
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,253,389	817,534	734,680	513,638	235,884	170,394	165,540	4,891,062
セグメント利益	164,339	37,254	30,635	27,632	9,954	6,639	9,955	286,411

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注3)
売上高				
外部顧客への 売上高	1,012,800	5,903,863	—	5,903,863
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	1,012,800	5,903,863	—	5,903,863
セグメント利益	36,207	322,619	△170,405	152,214

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品業界及び造船業界等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 △170,405千円には、内部利益 70,305千円、連結消去 33,186千円、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費 △273,897千円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第 1 四半期連結累計期間(自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							
	鉄鋼	自動車	電子・ 半導体	ゴム・ タイヤ	環境	紙パルプ	化学	計
売上高								
外部顧客への 売上高	2,633,212	1,101,143	861,063	864,396	256,159	141,157	258,607	6,115,742
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,633,212	1,101,143	861,063	864,396	256,159	141,157	258,607	6,115,742
セグメント利益	200,138	38,038	37,386	33,209	10,266	6,994	19,530	345,565

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注3)
売上高				
外部顧客への 売上高	1,113,084	7,228,826	—	7,228,826
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	1,113,084	7,228,826	—	7,228,826
セグメント利益	40,636	386,201	△116,940	269,260

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品業界及び造船業界等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 △116,940千円には、内部利益 136,783千円、連結消去 52,389千円、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費 △306,114千円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第 3 四半期連結累計期間までセグメント利益の調整額に含めておりました販売費及び一般管理費のうち、営業部門に係る費用は、前連結会計年度から合理的な基準によって各セグメントに配分する方法に変更いたしました。

なお、変更後の方法により作成した前第 1 四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、『Ⅰ 前第 1 四半期連結累計期間(自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)』に記載しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。